
2019年3月期 決算補足説明資料

国際石油開発帝石株式会社

2019年5月13日

注意事項

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

2019年3月期 決算ハイライト

	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	9,337	9,713	376	4.0%
原油売上高	7,102	7,826	724	10.2%
天然ガス売上高(LPG含む)	2,081	1,707	△ 373	△ 18.0%
その他	153	179	26	17.4%
営業利益 (億円)	3,573	4,742	1,169	32.7%
経常利益 (億円)	3,872	5,192	1,320	34.1%
親会社株主に帰属する 純利益 (億円)	403	961	557	138.1%
1株当たり純利益 (円)	27.64	65.81	38.17	138.1%

期中平均株式数(連結)2019年3月期 1,460,260,300株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	57.85	70.86	13.01	22.5%
期中平均為替 (¥/\$)	110.86	110.93	0円07銭円安	0.1%円安

2

原油売上高

	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	7,102	7,826	724	10.2%

販売量 (千bbl)	112,882	100,503	△ 12,379	△ 11.0%
海外平均単価 (\$/bbl)	56.30	70.30	14.00	24.9%
国内平均単価 (¥/kl)	42,143	51,667	9,524	22.6%
平均為替 (¥/\$)	111.35	110.73	0円62銭円高	0.6%円高

地域別販売量 (千bbl)	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
日本	940 (149.5千kl)	789 (125.4千kl)	△ 151 (△24.1千kl)	△ 16.1%
アジア・オセアニア	6,554	5,621	△ 932	△ 14.2%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	13,266	15,115	1,849	13.9%
中東・アフリカ	90,412	78,048	△ 12,364	△ 13.7%
米州	1,710	930	△ 780	△ 45.6%
合計	112,882	100,503	△ 12,379	△ 11.0%

3

天然ガス売上高(LPG除く)

	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	2,020	1,692	△ 328	△ 16.3%

販売量 (百万cf)	264,816	232,851	△ 31,965	△ 12.1%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	5.04	3.18	△ 1.86	△ 36.9%
国内分平均単価 (¥/m ³)	46.36	53.46	7.10	15.3%
平均為替 (¥/\$)	110.70	110.21	0円49銭円高	0.4%円高

地域別販売量 (百万cf)	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
日本	79,243 (2,123百万m ³ *)	80,930 (2,169百万m ³ *)	1,687 (+45百万m ³ *)	2.1%
アジア・オセアニア	137,371	106,703	△ 30,668	△ 22.3%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	7,808	9,996	2,188	28.0%
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	40,394	35,223	△ 5,171	△ 12.8%
合計	264,816	232,851	△ 31,965	△ 12.1%

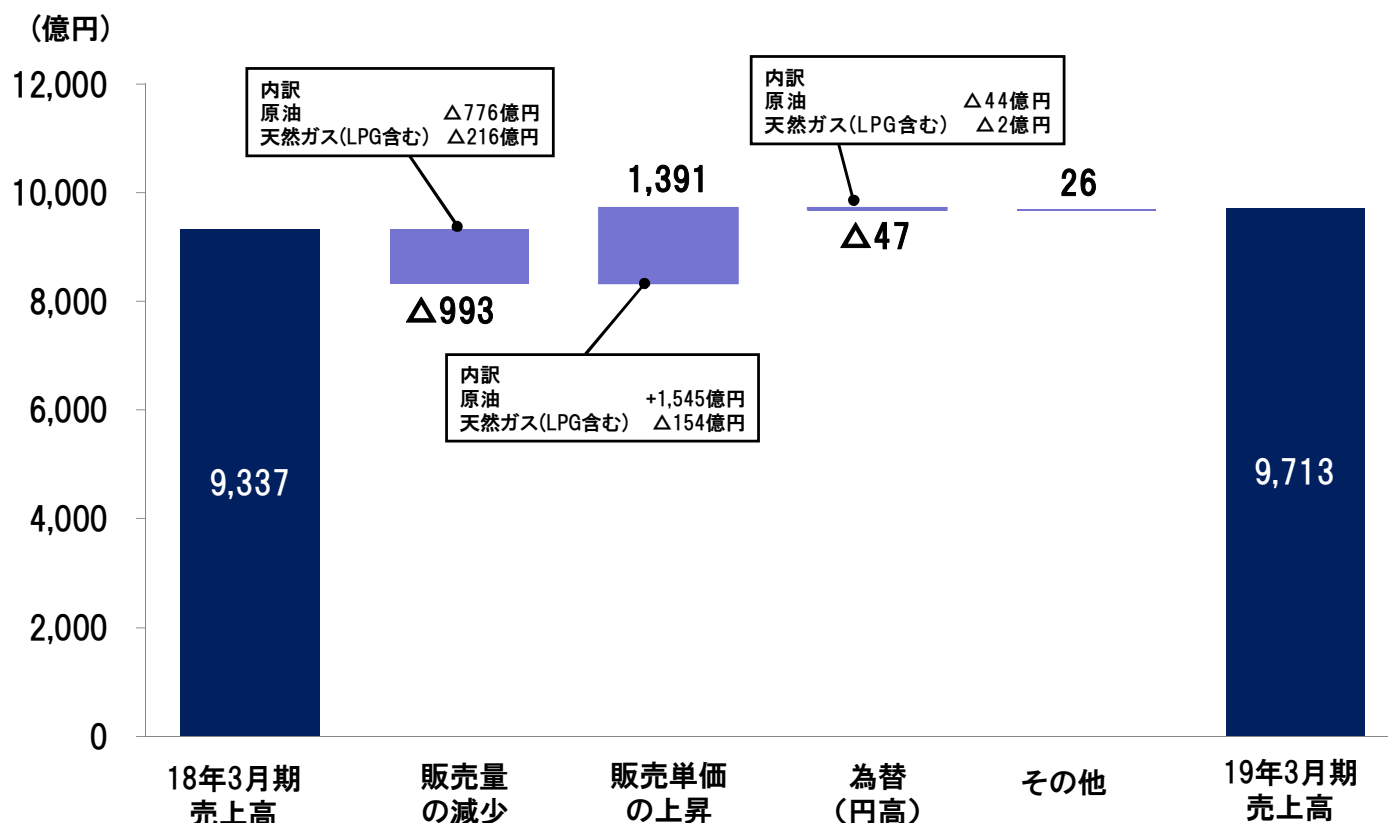
※ LPGの売上高は以下の通り。

	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	60	15	△ 45	△ 75.1%

*1m³当たり41.8605MJ

4

2019年3月期 売上高 増減要因分析



5

損益計算書

INPEX

(億円)	18年3月期	19年3月期	増減	増減率	
売上高	9,337	9,713	376	4.0%	販売量の減少 $\Delta 993$ 販売単価の上昇 $+1,391$ 為替(円高) $\Delta 47$ その他 $+26$
売上原価	4,980	4,133	$\Delta 847$	$\Delta 17.0\%$	原油売上原価: 2,999 (増減) $\Delta 587$ 天然ガス売上原価(注): 996 (増減) $\Delta 265$ (注)LPGを含む。
売上総利益	4,356	5,580	1,224	28.1%	
探鉱費	13	116	103	-	
販売費及び一般管理費	769	721	$\Delta 48$	$\Delta 6.3\%$	
営業利益	3,573	4,742	1,169	32.7%	
営業外収益	552	709	156	28.3%	主な要因 持分法による投資利益 (増減+241)
営業外費用	253	259	5	2.2%	主な要因 支払利息 (増減+102) 為替差損 (増減 $\Delta 104$)
経常利益	3,872	5,192	1,320	34.1%	
特別損失(減損損失)	799	252	$\Delta 547$	$\Delta 68.4\%$	
法人税等合計	3,093	3,972	878	28.4%	
非支配株主に帰属する純損益	$\Delta 424$	6	431	-	
親会社株主に帰属する純利益	403	961	557	138.1%	主な要因 カナダ シェールガスプロジェクト (増減 $\Delta 666$)

6

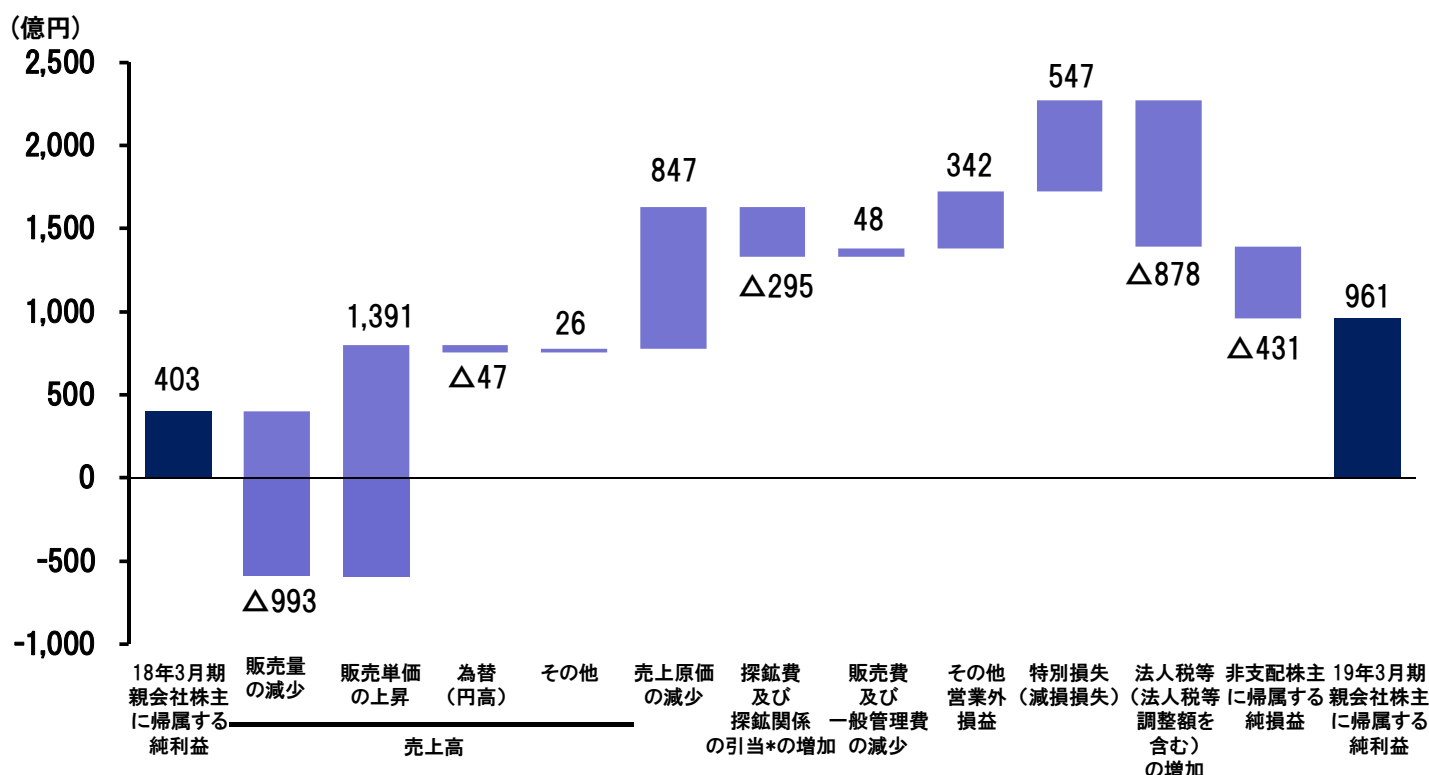
営業外収益・費用

INPEX

(億円)	18年3月期	19年3月期	増減	増減率	
営業外収益	552	709	156	28.3%	
受取利息	64	76	11	18.0%	
受取配当金	47	67	19	41.5%	
持分法による投資利益	41	283	241	576.6%	主にカナダの引当戻入益
貸倒引当金戻入額	1	83	81	-	
生産物回収勘定引当金戻入益	175	-	$\Delta 175$	$\Delta 100.0\%$	
受取補償金	126	74	$\Delta 51$	$\Delta 40.6\%$	エクアドル共和国 ブロック18鉱区返還に伴う補償金
為替差益	-	19	19	-	
その他	94	103	8	9.4%	
営業外費用	253	259	5	2.2%	
支払利息	70	173	102	145.0%	
生産物回収勘定引当金繰入額	-	14	14	-	
探鉱事業引当金繰入額	-	2	2	-	
為替差損	104	-	$\Delta 104$	-	
その他	78	69	$\Delta 8$	$\Delta 11.4\%$	

7

2019年3月期 純利益 増減要因分析



*生産物回収勘定引当金繰入額(戻入益)及び探鉱事業引当金繰入額

貸借対照表



(億円)	18年3月期末	19年3月期末	増減	増減率
流動資産	4,663	4,577	△ 86	△ 1.9%
有形固定資産	20,446	22,789	2,343	11.5%
無形固定資産	5,415	5,202	△ 212	△ 3.9%
生産物回収勘定	5,890	5,680	△ 210	△ 3.6%
その他	6,924	10,385	3,461	50.0%
生産物回収勘定引当金	△ 816	△ 700	116	△ 14.2%
資産合計	42,523	47,935	5,411	12.7%
流動負債	3,054	3,720	665	21.8%
固定負債	7,880	11,639	3,758	47.7%
純資産	31,588	32,575	987	3.1%
(うち非支配株主持分)	2,421	2,511	89	3.7%
負債・純資産合計	42,523	47,935	5,411	12.7%
1株当たり純資産額 (円)	1,997.24	2,058.95	61.71	3.1%

イクシス下流事業会社(持分法適用)の要約財務情報(100%ベース、内当社株式比率は66.245%)

・流動資産	1,401億円
・固定資産	3兆7,896億円
・総資産	3兆9,298億円

※固定資産にはFID前投資、借入金の支払利息分等が含まれる

株主資本合計	+696億円
その他の包括利益累計額+201億円	
・その他有価証券評価差額金	△73億円
・繰延ヘッジ損益	△193億円
・為替換算調整勘定	+469億円

キャッシュ・フロー

INPEX

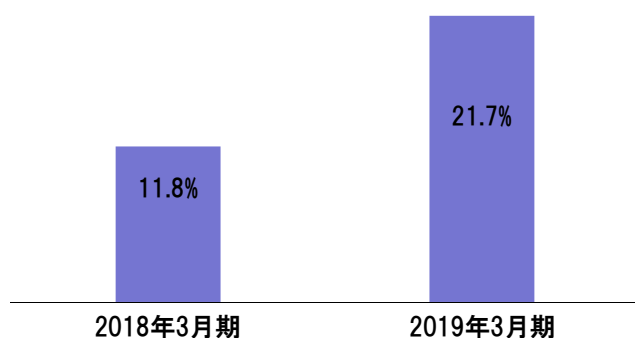
(億円)	18年3月期	19年3月期	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	3,072	4,940	1,867	60.8%
減価償却費	928	1,068	140	15.2%
減損損失	799	252	△ 547	△ 68.4%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	534	331	△ 203	△ 38.0%
生産物回収勘定(非資本支出)の増減額(△は増加)	96	46	△ 49	△ 51.8%
法人税等の支払額	△ 3,292	△ 3,880	△ 588	17.9%
その他	646	△ 372	△ 1,019	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,785	2,385	△ 399	△ 14.4%
定期預金の預入による支出/払戻による収入	3,339	0	△ 3,339	△ 100.0%
有形固定資産の取得による支出	△ 2,713	△ 2,107	605	△ 22.3%
投資有価証券の取得による支出	△ 1,277	△ 1,047	230	△ 18.0%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△ 241	△ 316	△ 74	31.1%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△ 1,722	△ 2,624	△ 901	52.3%
権益取得による支出	△ 1,009	△ 1,078	△ 69	6.9%
その他	105	353	247	234.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,519	△ 6,820	△ 3,300	93.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	347	4,051	3,704	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,760	2,396	△ 364	△ 13.2%

10

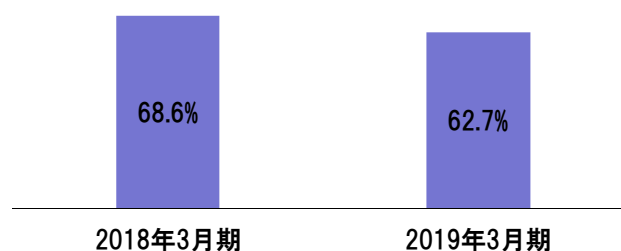
財務指標

INPEX

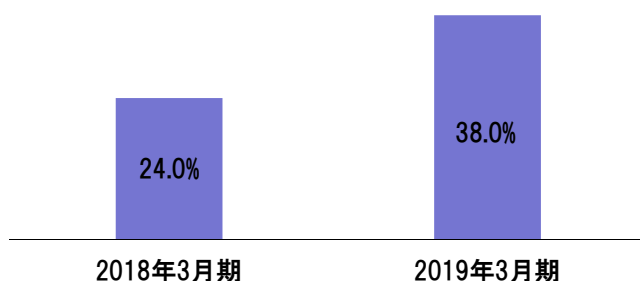
純有利子負債／使用総資本(ネット)*



自己資本比率**



D/Eレシオ***



* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債 - 現金及び預金) / (純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)
 ** 自己資本比率 = (純資産 - 非支配株主持分) / 総資産
 *** D/Eレシオ = 有利子負債 / (純資産 - 非支配株主持分)

11

2019年12月期(9ヶ月決算) 連結業績予想 **INPEX**

前提	上期(4-9月)	下期(10-12月)	通期
Brent 油価(\$/bbl)	65.0	65.0	65.0
為替レート(円/US\$)	110.0	110.0	110.0

通期	2019年3月期 (実績)		2019年3月期 (調整後実績※)	2019年12月期 (予想)	増減	増減率
売上高 (億円)	9,713	➔	8,001	9,580	1,579	19.7%
営業利益 (億円)	4,742		4,136	4,420	284	6.9%
経常利益 (億円)	5,192		4,456	4,300	△156	△3.5%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	961		523	900	377	72.1%

第2四半期累計

売上高 (億円)	4,382	➔	4,382	5,490	1,108	25.3%
営業利益 (億円)	2,264		2,264	2,440	176	7.8%
経常利益 (億円)	2,469		2,469	2,280	△189	△7.7%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	340		340	440	100	29.3%

1株当たり配当金(円)	第2四半期末	9.0	12.0
	期末	15.0	12.0
	年間	24.0	24.0

12 ※2019年度(2019年12月期)は変則決算のため、2018年度(2019年3月期)を同一期間(9ヶ月)に調整(一部子会社は12ヶ月ベース)、詳細は本資料P.15ご参照。
2019年12月期の配当基準日は、中間配当が2019年9月末、期末配当が2019年12月末。

2019年12月期(9ヶ月決算) 販売量・投資額(予想) **INPEX**

		2019年3月期 (実績)		2019年3月期 (調整後実績※)	2019年12月期 (予想)	増減	増減率
販売量	原油 (千bbl) ¹	100,503	➔	85,138	102,695	17,557	20.6%
	天然ガス (百万cf) ²	232,851		157,925	366,752	208,827	132.2%
	うち海外分	151,921		100,828	307,425	206,597	204.9%
	うち国内分 (2,168百万m ³)	80,930		57,097 (1,529百万m ³)	59,327 (1,589百万m ³)	2,230 (59百万m ³)	3.9%
	LPG (千bbl) ³	204		203	435	232	114.3%

		2019年3月期 (実績)		2019年3月期 (調整後実績※)	2019年12月期 (予想)	増減	増減率
開発投資額等 ⁴ (億円)		4,710	➔	3,706	2,630	△1,076	△29.0%
探鉱投資額 (億円)		137		64	180	116	181.3%
その他 (億円)		37		26	40	14	53.8%
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)		133		63	193	130	206.3%
うち非支配株主持分負担額 ⁶ (億円)		18		15	53	38	253.3%

注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用
2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m3=37.32cfを使用
3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5bblを使用
4 開発投資額にはイクシス下流事業、権益取得支出を含む
5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額のうち探鉱関連分
6 非支配株主による増資見合い分等

13 ※2019年度(2019年12月期)は変則決算のため、2018年度(2019年3月期)を同一期間(9ヶ月)に調整(一部子会社は12ヶ月ベース)、詳細は本資料P.15ご参照。

原油価格・為替レートのセンシティブティ **INPEX**

- 油価・為替変動の2019年12月期(9ヵ月決算) 親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額(注1)

油価1ドル上昇(下落)した場合(注2)	<p>期初時点: +38億円(△38億円)</p> <p>以下の通り、期中に変化します。</p> <p>第2四半期期初時点: +19億円(△19億円)</p> <p>第3四半期期初時点: +7億円(△7億円)</p>
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合(注3)	+18億円(△18億円)

(注1) 原油価格(Brent)の期中平均価格が1ドル上昇(下落)した場合、為替が1円円安(円高)になった場合の、期初(2019年4月)時点における2019年12月期(9ヵ月決算)の当期純利益に対する影響額を試算したものです。当年度期初時点における財務状況を基に試算したものであり、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

(注2) 油価変動が当期純利益に与える影響であり、原油価格(Brent)の期中平均価格の影響を受けます。尚、各四半期期初時点において、販売価格の一部は確定済のため、当該販売価格の確定割合を考慮し、下記の通り、センシティブティの四半期内訳を、試算しております。

- ✓ 第1四半期期初時点: +38億円 (第1四半期: +7億円、第2四半期: +12億円、第3四半期: +19億円)
- ✓ 第2四半期期初時点: +19億円 (第1四半期: ---、第2四半期: +7億円、第3四半期: +12億円)
- ✓ 第3四半期期初時点: +7億円 (第1四半期: ---、第2四半期: ---、第3四半期: +7億円)

(注3) 為替変動が当期純利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。尚、外貨建て資産と外貨建て負債の差から発生する為替評価損益に係るセンシティブティ(前期末と当期末の期末為替レートの差の影響を受ける)は、ほぼ中立化しております。

14

決算期(事業年度の末日)の変更の補足説明 **INPEX**

- 決算期を3月31日から12月31日に変更する予定(注1)。
- 決算期変更の経過期間となる2019年12月期(2019年度)は、2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月決算を予定。
- 比較参考として、2019年12月期(2019年度)と同期間の2018年度を「2018年度調整後実績値」とする。財務報告数値(決算短信等に記載の数値)、調整後実績値(注2)の対象は以下の通り。

<財務報告数値(決算短信等に記載の数値)>

	2018年				2019年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
当社および仮決算子会社等(注3)		2019年3月期			2019年12月期			
12月決算子会社(注4)	2018年度				2019年度			

<調整後実績値(注2)>

	2018年				2019年				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
当社および仮決算子会社等(注3)		2018年度				2019年12月期			
12月決算子会社(注4)	調整後実績値				2019年度				

(注1) 2019年6月下旬に開催予定の第13回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件。

(注2) 調整後実績値は、監査法人による監査は受けておらず、比較のための参考値。

(注3) 当社、主な国内連結子会社、海外プロジェクトの仮決算子会社。仮決算子会社とは決算日は12月31日であるが、連結決算に与える影響が相対的に大きいため、3月31日に組み替えて決算を行った子会社。

(注4) 決算日が12月31日の子会社。2019年12月期は9ヵ月決算であるが、12月決算子会社の決算は2019年1~12月の12ヵ月分が連結される。

15